

第44回 生きいき“ひの” ふれあいまつり

10月23日と24日の2日間、第44回生きいき“ひの”ふれあいまつりが、役場前駐車場、町文化センター、山村開発センターで開かれ、多くの人でにぎわいました。
※23日は展示部門のみ開催



とれたて新鮮野菜!

即売部門



◀役場前駐車場では、町内事業者などが、とれたての新鮮野菜や特産品、地元産品を使った加工品などを販売。また、木のおもちゃ作りや、リラクゼーションの体験コーナーなども。日野の魅力にふれようと多くの人を訪れ、会場は大いににぎわいました。

芸能発表



▶町文化センターでは、日野中学校吹奏楽部による演奏や、オカリナ教室によるオカリナ演奏が披露され、会場からは大きな拍手が送られていました。



時開催!!

オカリナの
落ち着いた調べが
響き渡る



展示部門

▶山村開発センターでは、書道や絵画、写真、手芸品に工芸品など、地域の皆さんが制作した作品が数多く展示。町内の小中学校や各種団体の日ごろの活動報告も展示されました。



しいたんも登場!
一緒に写真を
撮ったよ



砂鉄投入体験



第8回 令和のふいご祭 まつり

奥日野でかつて栄えた「たたら製鉄」にさまざまな角度から親んでもらうため、10月24日、役場前駐車場で、第8回令和のふいご祭（伯耆国たたら顕彰会、奥ひのたたらの里づくりプロジェクト実行委員会主催）が開催されました。

会場では「ミニたたら操業」が行われ、来場者は砂鉄の投入体験をするなど、たたら操業を疑似体験しました。たたら操業で出来上がるのは、「鋤（けら）」と呼ばれる鉄の元となる塊。今回の操業では、約6.7kgの鋤が炉から取り出され、来場者からは大きな歓声があがりました。



▲真っ赤に熱した鉄を打って鍛冶屋体験▶砂鉄を鉄に還元する際に出る不純物「ノロ」を排出する「ノロ出し」

また、会場では鍛冶工房宮光（本郷）による、熱した鉄を打ってペーパーナイフなどを作る鍛冶屋体験や、都合山たたらAR体験なども行われ、来場者はたたらの魅力を楽しみました。

▲約6.7kgの鋤けらが取り出されました。



イベント同

根雨駅・黒坂駅・江尾駅開業 100周年イベント

おもちゃでんしゃ博



電車がいっぱい！

10月23日と24日の2日間、金持テラスひので、根雨駅・黒坂駅・江尾駅開業 100周年イベント「おもちゃでんしゃ博」が開催されました。会場には、伯備線をイメージしてプラレールで作られたジオラマや、昔懐かしい鉄道写真展などが展示され、大人から子どもまで多くの人を訪れました。